

事後評価シート

コード 7-2-3	事務事業名 子育て支援事業(子育て相談、交流広場の実施)	所管部課 児童青少年部保育課
--------------	---------------------------------	-------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 育児や子育てに関わる悩みや不安について、保育園の職員が相談に対応するとともに、園庭開放や園行事を通じ地域の子どもや世代間の交流を図る。	事業の区分 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 地域の乳幼児及びその保護者を対象に子育て支援事業を実施する。	根拠法令等
	事業開始時期 昭和 63 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 実施保育園数	活動指標の考え方(定義) 地域の子育て支援のため事業実施施設数
	子育て相談件数	子育て相談実績数
	成果指標名	成果指標の考え方(定義)
	1次 園庭開放利用者数	1次 開放園庭を利用した年間延べ人数
	1次	1次
	2次	2次

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度	
事務事業データ	事業費(A)	千円	1,573	1,511	1,499	1,435	
	国庫支出金						
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,573	1,511	1,499	1,435	
	所要人員(B)	人	0.11	0.1	0.14	0.14	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	910	833	1,146	1,146	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	2,483	2,344	2,645	2,581	
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (実施保育園数)	千円	146	138	156	#DIV/0!	
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	園			17	17
		実績値	園	17	17	17	
	活動指標	目標値	件				
実績値		件	560	595	814		
1次成果指標	目標値	人					
	実績値	人	3,668	2,645	3,226		
1次成果指標	目標値						
	実績値						
2次成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	子育て支援事業として育児や子育てに関わる悩み等子育て相談、施設の園庭開放、行事等を利用しての地域の子どもの交流等々を実施している。このような活動については26市概ね同様である。
	運営上の制約条件・外部要因等	特になし

コード 7-2-3	事務事業名 子育て支援事業(子育て相談、交流広場の実施)	所管部課 児童青少年部保育課
--------------	---------------------------------	-------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的 適切 さ 目標	目的の妥当性 4 上位施策と目的が合致しており、施策に対する貢献度は他の事業と同程度である ▼	4	市民に定着している。
	目標の妥当性 2 目標を定量的に設定できないが、定性的には設定している ▼	2	
	緊急性 3 どちらかと言えば、実施した方がよい ▼	3	
2 市が 必要 関与 す	法的義務性 1 法律・条例・要綱・要領等で実施が規定されていない ▼	1	一時保育、緊急保育の充実基幹型保育園を開設し、核家族化した世帯等の子育て支援の充実を図る
	必要性 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである ▼	2	
	民間との役割分担 2 民間団体が同種のサービスを提供しているが、質・量共に下回っている ▼	2	
3 内容 の 適切 さ	ニーズ 3 市民(庁内)ニーズが明確に把握できており、ニーズに見合ったサービスである ▼	3	多様化する子育て支援ニーズに対応するため、保育園入所児童のみならず、在宅での子育て家庭の支援に対応を要する。
	規模・方法の妥当性 1 事業規模や方法は過去を踏襲しており、特に見直していない ▼	1	
	公平性 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民または団体である ▼	2	
4 実施 手段 の 適切 さ	有効性 4 現在、質・水準の改善に取り組んでおり、成果の向上が期待できる ▼	4	子育て支援の委託による効果を投入。
	効率性 3 既に他の実施主体を一部活用し、コスト低減に取り組んでいる ▼	3	
	独自性 2 庁内に同種の目的を有する(類似・重複を含む)他の事務事業がある ▼	2	
合計		29	

総合評価	評価結果	判断理由、説明等
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	認可保育園での子育て支援活動は充実するも、多様化する子育て支援のニーズに対応し保育園入所家庭のみならず、在宅での子育て家庭の支援に対応していく必要がある。

18年度における改善点	さらに基幹型保育園として子育て広場として、地域の乳幼児に居場所の提供をはかり、地域型保育園で更なる子育て支援の充実を図る。 平成18年度に2園で基幹型保育園としての事業をスタートし、以後3園を予定している。
-------------	--

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	相談事業はともかく、イベント的な事業については同種のを他でも実施している。事業効果等をみても、開放庭園利用数も横ばいであることから、当該事業でイベントを実施する必要があるのか疑問である。庁内類似事業との統合も含め事業内容の見直しを要する。
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	本事業は、利用実績等を検証する中で、家庭支援センター(のどか)や児童館相談事業等の庁内類似事業との整理・調整、連携強化を図り、より効果的な運営に努める必要がある。
--------	---	---